

令和2年度 高知中部森林管理署の重点施策

～地域の林業成長産業化に向けた取組～

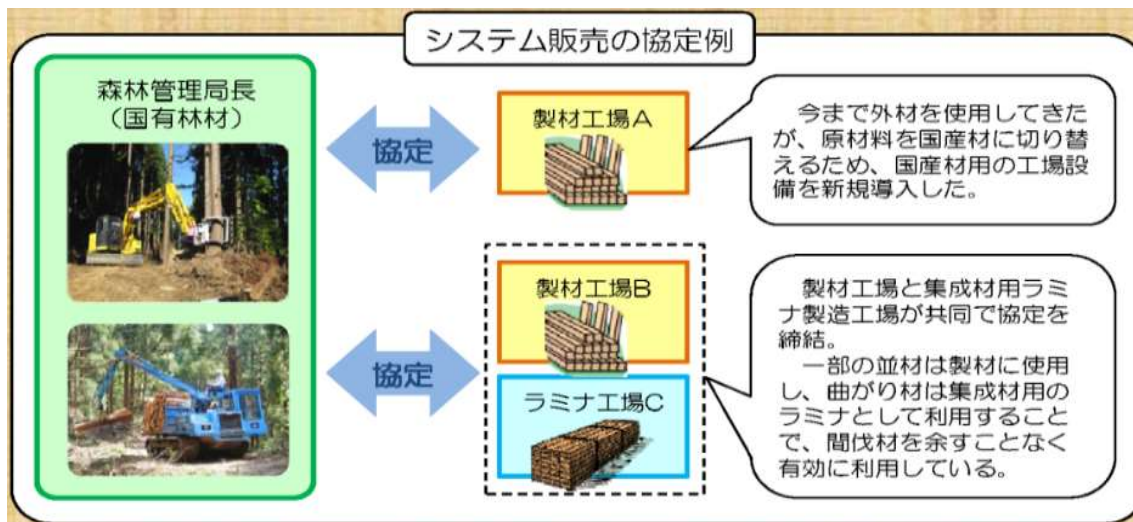
令和2年4月

高知中部森林管理署

1 国有林材の安定供給

- 令和2年度は国有林材5,000m³(丸太換算)を安定供給
- 生産する原木は、システム販売(四国森林管理局と需要者との協定締結)により安定供給

■ 国有林材の安定供給システム販売の仕組



■ 木材生産事業現場の様子



2 地域の安全・安心を守る災害・治山対策の強化

○台風、豪雨等による災害から地域の安全・安心を守るため治山事業を7箇所

【施設災害復旧事業(1箇所1.1億円)、復旧治山事業(6箇所3億円)】で実施

■令和2年度復旧治山事業・施設災害復旧事業実施箇所

■ヒカリ石の災害現場(香美市)

	復旧治山事業	施設災害復旧事業
	別府山(香美市) サイニヨウ(//) <u>別府山(//)</u> <u>宇筒舞山 I (//)</u> <u>ヒカリ石(//)</u> <u>桑の川山(//)</u>	ヒカリ石(//)
計	6箇所 (3億円)	1箇所 (1.1億円)



※下線は令和2年度新規地区

3 地域の森林・林業を担う人材育成

- 平成29年度に四国森林管理局と高知県が締結した「人材育成協定」に基づき、香美市谷相山国有林(「高知県立林業大学校の森」(1.95ha)において林業大学校の学生を対象に地拵、植栽、下刈、除伐等の現地実習、講師派遣等の支援を実施。
- 林業技術に関する「現地検討会」を開催し、市町村・林業事業者の技術力を向上

■ 令和2年度現地検討会の開催計画(予定)

No.	時期	テーマ	場所	主催
1	11月	「獣害対策現地検討会」	高知県香美市猪野々山国有林(予定)	高知中部森林管理署

■ ニホンジカ防護柵現地検討会の様子(R元.10.23)



■ 四国森林管理局と高知県の人材育成協定(H29.11.22)



■ 植付作業指導(R2.3)



■ シカ防護ネット設置指導(R元.10)



4 令和2年度 四国森林管理局市町村林業担当者実務研修

- 四国森林管理局は、平成31年4月からの森林経営管理制度の創設や森林環境譲与税の譲与開始など、市町村の林政上の役割の高まりを踏まえ、平成30年度より四国森林管理局職員の基礎研修を活用した「市町村林業担当者実務研修」を実施。令和元年度については、4回の研修に四国10市町から15名が参加。
- 令和2年度は、森林環境譲与税の講義、市町村の林業担当課長等による特別講義を研修日程の前半又は後半に重点的に配置したカリキュラムで開催予定（年4回）。
- 県・市町村等が研修会を開催する際に、講師派遣、国有林を活用した現地実習、生産現場見学等を用い支援。また、市町村林業担当者のスキルアップのための「出前講座」を実施。

■ 出前講座



■ 市町村特別講義



■ 令和2年度 四国森林管理局市町村林業担当者実務研修計画

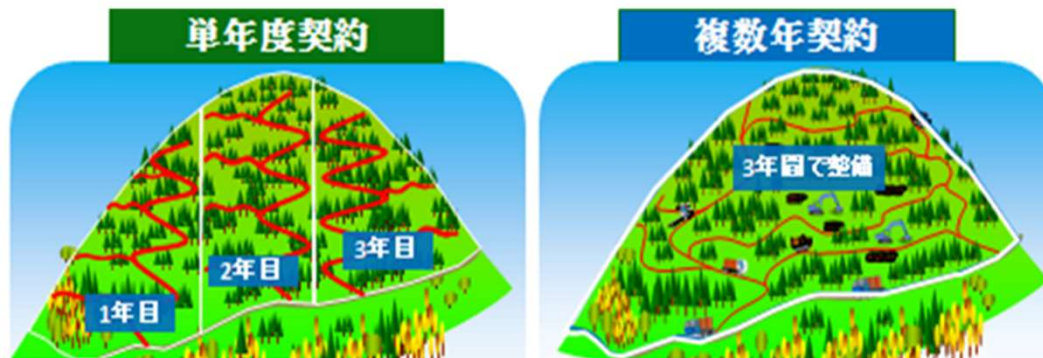
No	研修名	主な研修内容	研修期間 (日数)	市町村職員 募集人数
1	基礎研修 (基礎全般)	<ul style="list-style-type: none"> 講義: 人工林・天然林施業方法、森林環境教育、治山事業、保安林制度、造林事業、低コスト造林、森林調査簿・図面・空中写真の見方、林道基礎、森林被害、保護林制度、市町村特別講義 現地実習: 木材供給、木材利用、ドローン活用 	5/18~5/26 (5日)	5名程度
2	基礎研修A (森林の見方)	<ul style="list-style-type: none"> 講義: 森林施業、森林計画制度、森林作業道、林分推計、GIS・GPSの使い方、一貫作業、造林樹種、市町村特別講義 現地実習: 林道・作業道・林業専用道、境界検測・確認 	7/6~7/10 (5日)	5名程度
3	基礎研修B (森林の育成)	<ul style="list-style-type: none"> 講義: 森林・林業情勢と低コスト造林、森林被害対策、造林事業監督、保安林制度、間伐、市町村特別講義 現地実習: 造林事業、地拵え・下刈り、ドローン活用、治山事業 	8/24~8/28 (5日)	5名程度
4	基礎研修C (森林の収穫)	<ul style="list-style-type: none"> 講義: 収穫調査、立木販売、施業計画、森林経営管理制度と森林環境譲与税、市町村特別講義 現地実習・演習: 収穫調査、区域測量・搬出系統図作成 	10/19~10/23 (5日)	5名程度

5 林業コスト削減対策

- 複数年(3年以内)契約による請負生産の実施(1地区)
香美市井地山国有林(R2~4年度)
- 冬下刈りの導入(作業期間を6~12月に拡大)
- 列状間伐の積極導入
- コンテナ苗の安定調達

(R元年度9.3(スギ・ケヤキ)千本→R2年度7.2(ヒノキ)千本→R3年度35.4(スギ・ヒノキ)千本→R4年度30.1(スギ・ヒノキ)千本)

■複数年契約による森林整備



■令和2年度、複数年契約実施地区

複数年契約

- ・ 井地山(66ha、R2~4)(香美市)

■列状間伐実施後の様子(サイニヨ山国有林)



6 シカ被害対策(単木保護)の比較検証

- 高知中部森林管理署管内の国有林は急峻で、石礫が露出した箇所など、シカ防護柵不適地が多く存在し、そういった箇所は単木保護での造林となっている現状の中で、ニホンジカが単木保護を持ち上げ苗木を引き出して食害する被害が発生している。

このことから、既存の単木保護の改良、またはお互いの長所を併せ持たせることで食害防止の効果を更に発揮できないかについての比較・検証に取り組む。

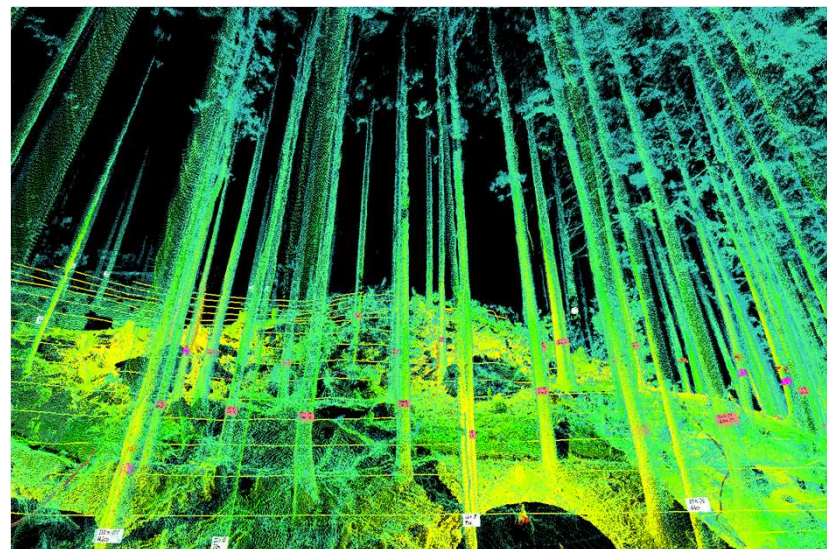
■ 食害された苗木



7 ドローン・ICTの新技術の積極導入

- ドローン2台を配備し、山地災害対策、森林資源調査、シカ被害対策、境界巡視等に積極活用
- GNSS(衛星測位システム)による収穫調査の周囲測量を実施
- 地上型3Dレーザースキャナによる森林資源調査システムの実証(現地検討会による成果の普及)

■ 地上型レーザースキャナの計測風景と再現された森林



8 三嶺の森の植生回復と再生に向けた取組

- 高知中部森林管理署は、平成19年度から、毎年春・秋に「三嶺の森をまもるみんなの会」と共同で、三嶺山系の西熊山・白髪山(通称「カンカケ谷」)周辺でボランティアの皆様に参加いただき、ニホンジカによる食害を受けた森の植生回復と再生に向けた活動を行っています。今後も、多くの皆様と協力しながらニホンジカの食害から三嶺の森を守る活動を続けてまいります。

■三嶺周辺でのシカ防護ネット設置ボランティア活動の様子(R元年10月)



